

道路トンネル技術基準の改定 に向けた検討状況

道路局 国道・技術課
(技術企画グループ)

(1) 性能規定に基づく技術基準への転換(要求性能)

○課題

- ・路線として所要の性能を確保していくため、道路を構成するそれぞれの構造物で要求性能等を設定する必要があるが、現行基準では要求性能が設定できていない。

○対応方針(案)

- ・橋梁や土工の基準も参考に、基準の性能規定化を検討・提案

■計画、設計及び施工の基本

使用目的との適合性: 利用者が安全かつ円滑にトンネルを使用できること

■設計の基本理念

トンネルは、利用者が安全かつ円滑に使用できるようにするため、使用性、復旧性、安全性及び耐久性並びにその他必要となる維持管理の確実性及び容易さ、環境との調和、経済性等を考慮して設計する。

要求性能

① 想定する作用に対する使用性、復旧性及び安全性に係る性能

設計状況に対して、使用性、復旧性、安全性の観点から、想定する状態にあることを所要の信頼性により実現する性能

② トンネルの使用目的との適合性の観点から必要となるその他の性能

作用は想定しないものの、使用性、復旧性、安全性の観点から必要となる性能や、維持管理の確実性及び容易さ、環境との調和、経済性等の観点から必要となる性能

(①や③の性能と必ずしも直接関係づけられないものの、使用目的との適合性の観点から、必要となるその他の性能)

⇒覆工崩落を抑制する「フェールセーフ」など

③ 耐久性能

設計供用期間※に対して、材料の経年的な劣化が①や②の性能に影響を及ぼさない状態にあることを所要の信頼性により実現する性能

※100年と設定

(2) 今後のスケジュール

